

平成29年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス

コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 土井 義人

TEL 03-6403-5710

四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期の第1四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第1四半期	12,328	10.6	613	△ 1.6	650	2.0	335	9.2
28年8月期第1四半期	11,143	11.9	623	△ 18.6	638	△ 20.6	307	△ 3.0

(注) 包括利益 29年8月期第1四半期 373 百万円 (12.7%) 28年8月期第1四半期 331 百万円 (△33.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第1四半期	18.67	—
28年8月期第1四半期	16.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第1四半期	34,747	14,332	39.0
28年8月期	33,517	14,272	40.4

(参考) 自己資本 29年8月期第1四半期 13,547 百万円 28年8月期 13,557 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	15.00	—	17.00	32.00
29年8月期	—	—	—	—	—
29年8月期 (予想)	—	18.00	—	16.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年8月期(予想)第2四半期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,830	10.0	2,493	△ 3.3	2,515	1.4	1,206	△ 13.3	66.45
通期	55,112	7.7	5,468	13.7	5,519	17.4	2,694	41.8	148.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

29年8月期1Q	19,200,000株	28年8月期	19,200,000株
29年8月期1Q	1,245,409株	28年8月期	1,245,409株
29年8月期1Q	17,954,591株	28年8月期1Q	18,454,640株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国際政治の潮流変化の影響を受けて国際経済の増勢が鈍る中、企業収益の伸びが衰え個人消費も一進一退を繰り返し、国内景気は官公需に何とか下支えられた状況です。

【カラオケ】

カラオケボックス業界の市場規模は横這いで推移するものの、大手事業者間の競争は一部で再編の動きを産む程、激しさを増しております。

このような厳しい競争に勝ち抜くために、国内では首都圏を中心とした店舗網の充実に継続して取り組むとともに、当社独自で他社に無いサービスを更に充実させることに大いに力を注いでおります。

将来の中核顧客たる高校生にフォーカスした室料0円「ZEROカラ」、そしてシニアを中心とした午前利用顧客の増加に呼応した昼12時まで室料30分10円「朝うた」、はそれぞれ狙い通りの集客増に繋がると同時に、当社事業全体の知名度の向上にも貢献しております。

気持ちのいいお部屋できれいな空気の中で思い切り歌って頂こうと、全室禁煙を首都圏一都三県の全店で9月より始めました。ファミリー顧客やシニア顧客をはじめとした健康を大切に考えるお客様に、大変ご好評をいただいております。

優れた個人経営店舗の特長であるきめ細かな接客と経営者目線でのより直向な店舗運営を目指し、社員独立制度を推進しておりますが、その独立者が運営する店舗は4店舗増えて23店舗となりました。

当第1四半期連結会計期間末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比16店舗増加し473店舗、海外店舗数は24店舗（シンガポール11店舗、韓国13店舗）となっております。

店舗リニューアルを国内では集中的に推進して、当第1四半期連結会計期間に31店舗終えております。

以上の結果、カラオケセグメントの売上高は64億10百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント損失は4億8百万円（前年同期比74百万円損失額増加）となりました。

【カーブス】

病気に罹らず介護も必要とせずに、いつも若々しく元気で楽しく過ごせる人生の実現を目指して、仲間達と生涯運動を続けられる場所を提供しております。運動習慣の無かった方々が、その必要性和大切さの理解を深め、運動を習慣化していただくことで、会員数の継続的拡大が図られ、店舗網も充実してまいりました。

店舗での運動と相乗効果の高いプロテインの販売も順調に拡大し、会員向け物販も伸び、これらも業容の拡大に貢献しております。

当第1四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数は前連結会計年度末比28店舗増加（増加率1.6%）し1,750店舗（内グループ直営店55店舗）に、会員数は34千人増加（増加率4.3%）し806千人となりました。

以上の結果、カーブスセグメントの売上高は54億69百万円（前年同期比18.0%増）、セグメント利益は12億22百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

【温浴】

人材育成やコスト管理面においてカラオケ事業で培ってきた様々なノウハウを活用するとともに、固定費、特に水道光熱費削減に向けて抜本的改革を行い、温浴施設経営の再生に取り組んでまいりました。

以上の結果、温浴セグメントの売上高は3億73百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は5百万円（前年同期比23百万円利益額増加）となりました。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は75百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益は27百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第1四半期連結累計期間の売上高は123億28百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益6億13百万円（同1.6%減）、経常利益6億50百万円（同2.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億35百万円（同9.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億29百万円増加し（前連結会計年度末比3.7%増）347億47百万円となりました。

(流動資産)

流動資産は5億68百万円減少し116億17百万円(同比4.7%減)となりました。これは主に、現金及び預金が6億45百万円減少したことなどによるものです。

(固定資産)

有形固定資産は17億66百万円増加し165億68百万円(同比11.9%増)となりました。これは主に、建物及び構築物が11億6百万円および車両運搬具及び工具器具備品が6億85百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は1億3百万円減少し22億57百万円(同比4.4%減)となりました。これは主に、のれんが1億29百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は1億35百万円増加し43億3百万円(同比3.3%増)となりました。これは主に、敷金及び保証金が1億11百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は17億98百万円増加し231億29百万円(同比8.4%増)となりました。

(流動負債)

流動負債は1億96百万円増加し108億81百万円(同比1.8%増)となりました。これは主に、未払金が10億93百万円および1年内返済予定の長期借入金が4億円増加した一方で、未払法人税等が6億55百万円および支払手形及び買掛金が3億67百万円減少したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は9億73百万円増加し95億33百万円(同比11.4%増)となりました。これは主に、長期借入金が9億71百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は11億70百万円増加し204億15百万円(同比6.1%増)となりました。

(純資産)

純資産は59百万円増加し143億32百万円(同比0.4%増)となりました。これは主に、非支配株主持分が69百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月7日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,304,164	5,658,378
受取手形及び売掛金	2,725,682	2,533,158
商品	938,063	1,131,102
原材料及び貯蔵品	215,763	209,358
繰延税金資産	317,030	409,894
その他	1,724,413	1,712,032
貸倒引当金	△39,263	△36,495
流動資産合計	12,185,854	11,617,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,081,749	11,187,982
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	2,649,429	3,334,993
土地	1,965,917	1,965,917
リース資産(純額)	83,299	70,930
建設仮勘定	22,035	8,667
有形固定資産合計	14,802,432	16,568,491
無形固定資産		
のれん	1,429,342	1,299,838
ソフトウェア	899,868	952,837
その他	32,013	5,005
無形固定資産合計	2,361,224	2,257,681
投資その他の資産		
投資有価証券	465,372	473,331
関係会社株式	28,637	28,637
長期貸付金	567,753	542,914
長期前払費用	74,227	68,460
敷金及び保証金	2,674,361	2,786,071
繰延税金資産	265,830	292,151
その他	108,145	128,875
貸倒引当金	△16,475	△16,788
投資その他の資産合計	4,167,853	4,303,654
固定資産合計	21,331,510	23,129,828
資産合計	33,517,364	34,747,259

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,146,556	1,778,582
1年内返済予定の長期借入金	2,964,912	3,364,912
リース債務	47,400	47,325
未払金	853,130	1,946,995
未払費用	1,011,689	1,013,921
未払法人税等	1,006,955	351,762
賞与引当金	246,544	113,551
預り金	1,659,939	1,754,787
その他	747,930	509,969
流動負債合計	10,685,059	10,881,807
固定負債		
長期借入金	6,855,752	7,827,024
リース債務	55,983	44,593
繰延税金負債	171,367	51,557
資産除去債務	1,233,584	1,386,182
その他	242,845	223,892
固定負債合計	8,559,532	9,533,249
負債合計	19,244,591	20,415,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	14,834,131	14,860,015
自己株式	△2,319,401	△2,319,401
株主資本合計	13,491,930	13,517,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,255	22,771
為替換算調整勘定	46,229	6,511
その他の包括利益累計額合計	65,484	29,283
非支配株主持分	715,358	785,104
純資産合計	14,272,773	14,332,202
負債純資産合計	33,517,364	34,747,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
売上高	11,143,852	12,328,424
売上原価	8,946,587	9,567,536
売上総利益	2,197,264	2,760,887
販売費及び一般管理費	1,574,224	2,147,685
営業利益	623,040	613,201
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,833	2,147
為替差益	—	9,216
店舗移転補償金	—	27,259
その他	19,864	21,631
営業外収益合計	29,697	60,255
営業外費用		
支払利息	5,809	7,427
為替差損	6,515	—
その他	2,150	15,072
営業外費用合計	14,475	22,500
経常利益	638,263	650,957
特別利益		
固定資産売却益	87,580	—
特別利益合計	87,580	—
特別損失		
固定資産除却損	20,691	40,039
特別損失合計	20,691	40,039
税金等調整前四半期純利益	705,152	610,917
法人税、住民税及び事業税	301,908	441,441
法人税等調整額	25,334	△240,547
法人税等合計	327,242	200,894
四半期純利益	377,909	410,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	70,897	74,746
親会社株主に帰属する四半期純利益	307,012	335,276

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成27年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)
四半期純利益	377,909	410,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	865	3,516
為替換算調整勘定	△47,147	△39,717
その他の包括利益合計	△46,281	△36,201
四半期包括利益	331,627	373,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,730	299,075
非支配株主に係る四半期包括利益	70,897	74,746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	6,076,932	4,635,123	353,437	78,359	11,143,852	—	11,143,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,076,932	4,635,123	353,437	78,359	11,143,852	—	11,143,852
セグメント利益又は損失 (△)	△334,450	1,150,068	△17,880	23,713	821,452	△198,411	623,040

(注) 1. セグメント利益の調整額△198,411千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	6,410,549	5,469,141	373,522	75,210	12,328,424	—	12,328,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,410,549	5,469,141	373,522	75,210	12,328,424	—	12,328,424
セグメント利益又は損失 (△)	△408,827	1,222,044	5,709	27,042	845,968	△232,766	613,201

(注) 1. セグメント利益の調整額△232,766千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。